

震災の記憶伝えたい



住民、ゼミ生が協力して塗装作業に取り組んだ＝1月9日



区画ごとに屋根の色などを細かく再現

高橋研究室 益満ゼミ

理工学部機械工学科・高橋智研究室と経営学部・益満環ゼミが、3Dプリンターを活用し東日本大震災の津波で失われた町並みを立体模型として再現する福島県新地町の事業に協力している。1月9日から14日まで同町で行われた住民参加の制作会に参加した。

福島県新地町釣師地区

立体模型で再現

新地町は宮城県山元町、丸森町と接する福島県の浜通り地域最北の町。西側は阿武隈山地の北端にあたる山々が連なり、東側は太平洋に面している。同町釣師地区はほとんどの家屋が流失し、多くの犠牲者が出た。町は、心の面での復興と被害の風化防止を図ろうと事業を企画。震災後、石巻市沿岸部の復元立体模型の制作・展示などの取り組みを行った益満環教授と高橋智教授に協力を依頼した。

高橋研究室でCAD工学や3Dプリンターの操作を学んだ学生が、震災前の航空測量データをもとに地形や住宅などを再現。制作会では、益満ゼミ生4人が住民と一緒に立体模型の仕上げ作業を行った。

こめぼこの商品化について発表するメンバー



今年度は「Pepper」社会貢献プログラム（ソフトバンクグループ）×石巻商業高校、石巻桜坂高校、石巻工業高校5チーム、「こめぼこ商品化プロジェクト」(業天野球団、阿部蒲鉾店×石巻北高校、宮城県水産高校1チーム)、「復興まちづくり情報交流館」×石巻好校、石巻好文館高校、石巻北高校、石巻桜坂高校、11チームが発表した。

8チームが成果を発表

高大産連携プロジェクト

石巻専修大学と石巻市内の高校、企業や法人が連携し、地域を支える人材の育成と地域活性化を目指す高大産連携プロジェクトの2017年度報告会が、2月10日に開かれた。計8チームが1年間にわたる活動の様子や実施イベントの成果を発表した。

オリックス不動産内定 吉岡映美さん(理工4)



悠々と泳ぐエイやサメ。サ立っていきなさい」と話す。3年次にはダイビングと潜水士の資格を取得した。資格取得に向けた準備とインターンシップの時期が重なり、「2年次のうちにどれか一つを始めていければよかった」と振り返る。

夢かなえ水族館飼育員に
「夢かなえ水族館飼育員に」をテーマにした。水族館飼育員になるのが夢。採用試験は、東京と京都で水族館を運営するオリックス不動産(東京都)に内定。大学で蓄えた知識を役にたかせた。合格の喜びを分かち合った。

若者の投票率向上へ 有志6人が啓発活動



2、3年次生の有志6人が、石巻選挙管理委員会が企画した「若者の投票率向上に向けた座談会」に参加し、当事者の立場から、選挙や投票に関する意見を交わした。

菊田さん(右)を中心にアイデアを話し合う2月5日設置された。6人はSNSを使った啓発活動など改善案をまとめた中間報告書を作成。1月30日、石巻市役所で開かれた中間報告会で同委員会に提案した。

体験談を発表
幼児教育実習
人間学部人間教育学科の3年次生による幼児教育実習報告会が1月19日に開かれ、実習を終えた26人が実習内容やエピソード、学んだことなどの体験を発表した。

2017年度学位記授与式(卒業式)のご案内
日時: 3月20日(火)10時30分開式
会場: 本学体育館

最終講義のご案内
【理工学部】
土屋剛教授 2月23日(金)13時30分、5301教室
【人間学部】
大谷尚文教授 大津幸一教授 2月26日(月)13時30分、4201教室

機械工学科で ロボコン開催
1月26日、理工学部機械工学科の1年次生が履修する専門科目「工作実習II(水野純教授)で、恒例のロボコンコンテストが開かれた。写真。学生はチームを組み、自作のロボットが時間内にどれだけ多くテニスボールを相手コートに入れられるか競った。優勝チームの伊藤諒介さん(山形県山形工業高)は「チームの動きを工夫した。製作してみないと分からない部分があり、試行錯誤を繰り返して改良を重ねた成果に満足した」と話した。

北リアナ諸島グレイ・クリスチャン・アカデミー 副座長 関佑弥(同・宮城県東北学院高)▽高橋利貴(理工2高)▽宮城県松島高)▽佐々木祐輔(同・岩手県釜石高)▽佐藤香伽(人間2年・岩手県一関第一高)